



はたちの集い



町
議
会



高
原
町

たちばな

「高原町の町木」



90号

令和6年12月定例会 (第4回)

【目次】

議長あいさつ	P 2
12月定例議会のあらまし	P 3~P 5
委員会報告	P 6~P 7
議会の在り方検討特別委員会	P 8
一般質問	P 9~P 13
きらり☆たかはるびと・編集後記	P 14

だより

本年もよろしくお願ひします



ごあいさつ 議長 前原 淳一

まえはら じゅんいち

皆様には清々しいお気持ちで新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年は能登半島地震に始まり、国内はもとより世界中が激動の中で1年の締めくくりを迎えました。特に国政にあっては、燃油などの物価高騰が続く中、年収の壁などを筆頭に論戦が交わされていますが、高原町のような脆弱な地方自治体が影響を受けることのない政治を行ってほしいものです。

そこで、昨年12月議会では「地方財源の確保に配慮を求め意見書」が提案され全会一致で可決をして頂き、早速、国へ送付をしたところです。これからも国の動きを注視していきたいながら、しっかりとものが言える議会を目指して参ります。

高原町は病院や、役場をはじめとする公共施設の老朽化など未解決の問題が山積する中、学校も統廃合まで残り1年となりました。また、今後は大規模化する自然災害も懸念されるところです。

私たち議員も新たな気持ちで、諸問題に立ち向かっていかなければならないと考えていますので、どうか温かく見守って頂きますとともに、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひ致します。

終わりに、皆様にとって幸多い年になりますようご祈念申し上げます。

12月定例会のあらまし 第4回定例会

第4回定例会は、12月4日から12月9日の6日間開催され、承認1件、議案16件、発議1件が上程され、原案のとおり承認、可決しました。

承認第8号 一般会計補正予算 第7号

[主なもの]

- ・衆議院議員選挙費

補正額：1,107万9千円



↑承認第8号の上程及び審議

議案第60号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例

趣旨及び概要：令和7年度から普通徴収に限り暫定賦課を廃止し、これに伴う納期の条項を改正し、関連するその他の条項を削除するもの

主な改正内容：普通徴収による国民健康保険税の納期の変更。

国民健康保険税の納期は、「10期」から「9期」とする。



↑議案第60号の上程及び審議

議案第61号 一般職の任期付職員の採用等に関する条例

趣旨：行政の高度化、多様化、国際化などが進展する中で、これらの変化に的確に対応し、遂行していくため、民間人材の採用の円滑化を図るために本条例を制定するもの

概要：任期付職員の採用は(1)(2)の場合は5年を超えない範囲、(3)(4)の場合は3年を超えない範囲で任期を定める。

- (1) 高度の専門的な知識経験又は識見を有する者をその者が有する知識等を一定期間活用し遂行することが特に必要とされる業務に従事させる場合
- (2) 専門的な知識経験が必要とされる業務にその者が有する知識等を期間を限って従事させる場合
- (3) 一定期間内に終了することが見込まれる業務の場合
- (4) 一定期間内に業務量の増加が見込まれる場合



↑議案第61号の上程及び審議

(特定任期付職員の給与の給料表)

号 給	給料月額
1号給	380,000円
2号給	427,000円
3号給	477,000円
4号給	539,000円
5号給	615,000円
6号給	718,000円
7号給	839,000円



議案第62号 高原町立小中学校設置条例

趣旨：町内小中学校の廃止、設置に伴い条例を制定するもの

概要：令和8年3月31日をもって町内4小学校・2中学校は閉校し、令和8年4月1日から新たな町立小中学校を設置するため本条例を制定するものであり、新たな名称については、広く公募し、高原町小中一貫教育校準備委員会及び高原町教育委員会による審議を経て

高原町立「高原小学校」「高原中学校」に決定。

愛称として「たかはる学園」と決定した。

※施行期日は令和8年4月1日であるが、

今回の議決によって、今後校歌や校章作成などの準備が進められる。



↑議案第62号提案理由



↑議案第62号質疑及び審議

**議案第69号 一般会計補正予算 第8号**

[主なもの]

- ・道路維持費（1,689万5千円）
- ・校歌作成費等（109万2千円）

補正額：6,712万3千円



↑議案第69号の上程及び審議

議案第70号 介護保険事業特別会計補正予算 第2号

- ・保険事業勘定 介護給付費準備基金積立金 4,593万7千円

予算総額：14億8,755万2千円

- ・介護サービス事業勘定 一般会計繰出金 148万4千円

予算総額：715万7千円



↑議案第70号の上程及び審議

議案第71号 後期高齢者医療特別会計補正予算 第1号

- ・一般会計繰出金 304万7千円

予算総額：3億1,319万4千円



↑議案第71号の上程及び審議

議案第72号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- ・給料表の改正
- ・期末、勤勉手当の年間支給月数を4.5月から4.6月に引き上げる。

議案第73号 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例

- ・期末手当の年間支給月数を3.4月から3.45月に引き上げる。

議案第74号 議会の議員の議員報酬・費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

- ・ 期末手当の年間支給月数を3.4月から3.45月に引き上げる。

議案第75号 一般会計補正予算 第9号

- ・ 給与等改定に伴う補正

補正額：6,600万5千円



↑議案第72・73・74・75号の上程及び審議

令和6年度 予算総額 71億9,562万9千円

発議第2号 税制改正に伴う地方財源の確保に対する配慮を求める意見書

令和7年度の税制改正に関し、国においては政党間協議の中で被扶養者の給与所得に係る基礎控除額の見直し、租税特別措置法第八十九条の施行に関する法整備が検討されている。

基礎控除額の見直しは、短時間労働者の就業可能時間が増えると共に雇用者側の人手不足の解消に繋がる一方、住民税、地方交付税といった地方財源の大幅な減少が見込まれる。

また、租税特措法第八十九条の施行は、特例規定が発動した場合においても、ガソリン価格の減税により経済の活性化が図られ実質GDPを押し上げる効果が期待できる反面、地方譲与税の減に繋がる。

財政構造が脆弱である地方にこそ国からの更なる支援が必要であるところ、これら地方財源の減収が見込まれることにつき、本年11月19日、全国知事会は自民党税制調査会長に面会し配慮を求めている。

以上により、国においては、各種税制改正が地方の財政運営に与える影響を十分に考慮し、地方財源の確保に関し、制度面での充実はもとより、地方交付税等の上乗せを検討するなど、各種の減収補填対策を講じていただくよう求める。

宮崎県高原町議会

表決が分かれた議案の議員別賛否一覧 令和6年 第4回 定例会 議決結果(内容)

件名	議決結果	①西嶋陽代	②岩元礼子	③福澤卓志	④温水宜昭	⑤末永充	⑥外村仁	⑦郡山貞利	⑧山下香織	⑨陣圭介	⑩前原淳一
議案第60号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	—
議案第62号 高原町立小中学校設置条例	可決	○	●	○	●	○	○	○	○	●	—
議案第72号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	●	—
議案第73号 特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	●	—
議案第74号 議会の議員の議員報酬・費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	●	—
議案第75号 令和6年度高原町一般会計補正予算(第9号)	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	●	—

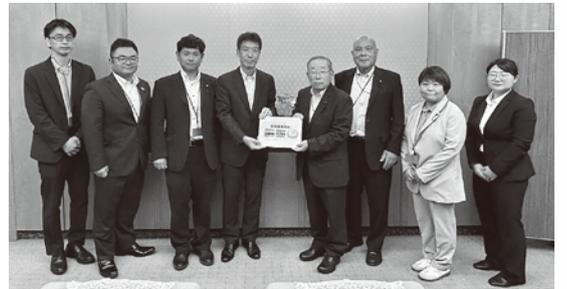
「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

9月定例会以降12月定例会までの議会の動き

- 定例会 12月4日～12月9日(会期6日間)
- 議会運営委員会 2回(11/27、12/9)
- 全員協議会 4回(10/21、11/15、11/29、12/9)
- 総務経済常任委員会 1回(12/6)
- 文教厚生常任委員会 2回(10/2、12/6)
- 議会だより編集委員会 2回(10/15、12/9)
- 議会の在り方検討特別委員会 2回(10/21、12/9)
- 公共施設の在り方検討特別委員会 1回(10/21)

1. 期 日 令和6年8月19日(月)～20日(火)
2. 場 所 東京都衆議院第二議員会館、国土交通省等、茨城県利根町
3. 調査内容

- ・株式会社NTTデータ経営研究所 講師 大野博堂氏との研修会
客観指標からみた高原町の現状と課題について研修を受けた。地域住民の健康や幸福度を高める施策を展開するのが有効であるということであった。
- ・国土交通省観光庁観光地域振興課 課長 安部勝也氏への要望活動
本町の観光振興について意見交換を行った。高原町には「天孫降臨」の神話があり、例えば「天孫降臨〇〇」というテーマで、霧島ジオパーク等の団体を利用する等、近隣の自治体と連携してプランを立てるのはどうか。今あるものを活かす例として、御池にカヌーを導入したり、長期滞在できる事業を企画したりしてはどうかという意見があった。
- ・総務審議官 原邦彰氏への要望活動
総務省管轄で地域公共交通とマイナンバーカードの交付率について高原町のPRを行い、地域公共交通の予算措置を要望した。
- ・高原町の現状を下記の方々へ説明し、補助金の対象範囲の見直しや今後の事業について要望した。



【国土交通省】

大臣官房審議官		鎌原 宜文氏
道路局長		山本 巧氏
道路局	国道・技術課長	西川 昌宏氏
道路局	環境安全・防災課 道路防災対策室 室長	神山 泰氏
道路局	環境安全・防災課 企画専門官	中屋 正浩氏
都市局	市街地整備課 企画専門官	松村 知樹氏

- ・茨城県利根町役場を視察した。

1. 学校跡地利用に関すること等について



▲茨城県利根町の行政視察の様子

2. 利根町まちなか・商店街活性化事業について



▲チャレンジショップ「ママとこ cafe」のオーナーと担当職員

【考察】

1日目は、衆議院議員会館を訪問・研修し、国土交通省関係機関に高原町の現状を説明し関係省庁の方々からアドバイスを頂いた。いち早く情報等を得ることができ、町の施策に活かしていきたい。今後もこのような機会が得られるようにしたい。

2日目は、利根町役場を訪問し、小学校3校を1校に統合された利根町の学校跡地利用に関することや起業塾について、役場政策企画課、まち未来創造課、利根町議会の方々に事業経緯等を伺った。利根町は、昭和50年代に首都圏のベッタウンとしてニュータウン開発が行われてきた。

しかし、現在は、高齢化率45%となり厳しい状況である利根町の現状を研修して、誰もが幸せを共有できるサービスを提供出来るよう研鑽されていることを学んだ。

文教厚生常任委員会 所管事務調査

1. 調査日 令和6年7月11日(木)、17日(水)

○高原町養護老人ホーム峰寿園について調査

令和6年4月1日より養護老人ホーム峰寿園が高原町直営になったため、その現状について調査を行った。



☆入園者 (令和6年7月1日現在、定員50名)

総数 36名 (男性9名、女性27名)

平均年齢 83.75歳 (男性75.77歳、女性86.41歳)



☆職員体制 (総数29名)

事務部門5名、相談部門2名(うち1名副園長兼務)、看護部門2名、支援部門15名、給食部門6名

☆施設の現状と改修状況 (平成2年3月新施設完成)

居室(トイレ、洗面所付個室)52室・集会室・食堂・浴室・談話室・面接室・医務室
静養室・調理室・事務室・介護職員室・リネン室・洗濯室・作業室等

●令和5年度改修

消防設備改修工事(誘導灯及び消火栓ホース改修)	工事費	2,501,400円
屋根防水工事(談話室上部防水工事)	工事費	715,000円
門扉改修工事(門扉改修)	工事費	971,000円
衛生器具取替工事(シングル混合栓取替・事務室等洗面器混合栓取替)	工事費	902,000円

●令和6年度改修

屋根改修工事(防水工事)	予算額	18,311,000円
屋根改修工事(追加分)	予算額	3,576,000円
緊急性を要する修繕(浄化槽蓋改修工事等)	予算額	1,664,000円

【調査のまとめ】

指定管理から町直営になり、その移行準備期間も短かったことで、業務にあたる職員への負担、利用者においても直営移行に伴う職員の大幅な入れ替えに対する不安も大きかったと思われる。

管理運営の現状と課題について様々なことがあげられたが、その対策として、看護・支援に関しては高原病院、福祉課との連携の強化を図ることが重要だと感じた。

議会を傍聴しませんか？

YouTubeでもご覧いただけます。

3月定例会は

3月5日(水)~

※質問者数により日程が決まります。

本会議は午前10時開会

請願・陳情を出される方は2月25日(火)までにご提出ください。

高原町議会事務局 ☎42-5138



※詳細は町公式ホームページにて

議会の在り方検討特別委員会

議員の処遇（定数・報酬）に関するアンケート について集計結果をお知らせいたします。

ありがとうございました

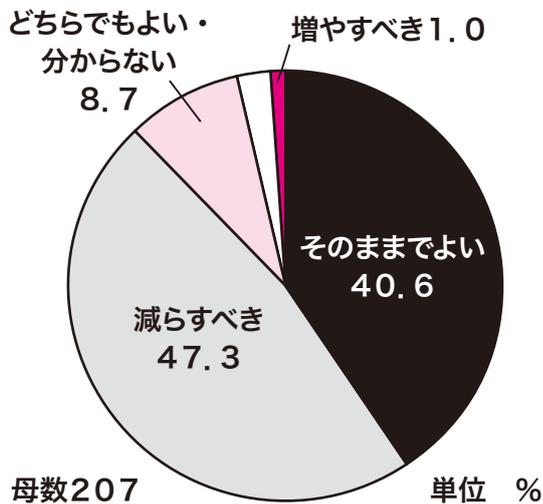


議員の処遇（定数・報酬）に関して、4月の議会報告会に参加いただいた方のほか、7月に郵送でアンケート調査を実施いたしました。ご協力ありがとうございました。調査の集計結果について、ご報告申し上げます。

調査結果を参考にさせていただき、現在、議会の在り方検討特別委員会にて議員の処遇について協議を行っているところです。

今後、任期中の対応を2月までに決定し、3月に中間報告を実施する予定としています。

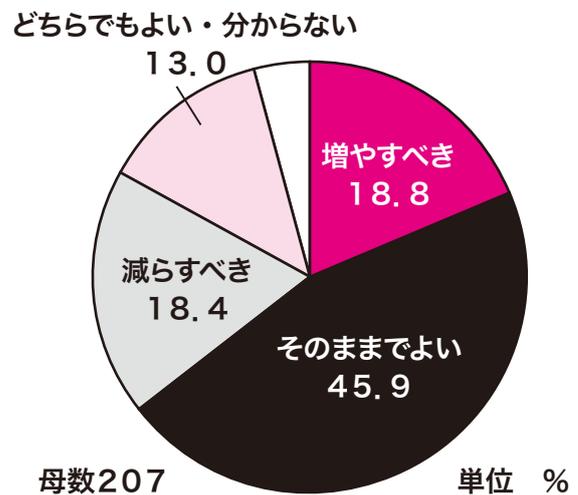
議員定数について



複数いただいた意見

- 「そのままでよい」の回答
 - ・定数が少なすぎても議論できない。町民の意見が反映されなくなる。(6件)
 - ・定数を減らすと地域的に偏りが生まれる。(3件)
- 「減らすべき」の回答
 - ・町の財政状況に見合った数に。(5件)
 - ・人口1,000人に対し一人が妥当。(4件)
 - ・人口減少する中で現人口から考えて多い。(48件)
- ◎理想的定数の回答で多かったもの
 - ・8人(49件)
 - ・7人(8件)
 - ・6人(7件)

議員報酬について



複数いただいた意見

- 「増やすべき」の回答
 - ・なり手不足の解消になる。(7件)
 - ・議員職に専念できるよう、生計が成り立つよう。(10件)
 - ・定数を減らせば増やしてもいい。(6件)
- 「そのままでよい」の回答
 - ・それなりに高額。責任を持って仕事を。(2件)
- 「減らすべき」の回答
 - ・財政状況に見合った報酬にすべき等。(5件)
- ◎理想的金額の回答で多かったもの
 - ・3万円増(4件)
 - ・30万円程度(5件)
 - ・10万円、18万円(各3件)

福祉・教育の充実を



にしじま はるよ
西嶋 陽代議員



(一般質問の様子)

●町立病院

問 2市1町で取り組む「地域医療連携法人」の設立協議が中断された。今後の方針は。

答 法人設立の必要性は認識している。設立に向けた協議を進めていく。

問 地域医療構想について、病床の削減や統廃合は。

答 人口10万人当たりの病床数を算定すると、本町は767・9床となり、県平均1347・4床を大きく下回る。慎重に対応する。

問 外来患者を増やす取り組みは。

答 令和7年2月より、午後の外来診療を再開する。広報誌を2月に発行。ホームページを患者目線で掲載する。

●放課後児童クラブ

問 高原小学校放課後児童クラブ、令和7年度の継続は。

答 令和6年度で閉所。利用者の納得が得られている。

問 学校統廃合後の狭野・広原・後川内の事業は。

答 さのっこクラブは継続。広原・後川内は保育所の在り方を含めて検討中。

問 利用料の減免・徴収方法・学校との連携は。

答 減免は考えていない。徴収方法もペイペイ導入は難しい。お守り登録にならないよう、登録した時点で月額利用料の納入が発生する。学校と事業者の連携を図る。



▲学童で宿題をしている様子

●教職員の働き方・なり手不足

問 適正な教員の配置・支援員の配置が行われているか。

答 配置されなかった学校は、小学校1校1名、中学校1校1名。支援員は、適宜、配置している。

●加齢性難聴者の補聴器購入

問 助成制度は。

答 情報収集を行っている。宮崎県市長会などから、要請がある。

町立病院について



こおりやま さだとし
郡山 貞利議員



(一般質問の様子)

問 病床稼働状況、患者数、救急応需状況は。

答 令和6年4月から10月末まで、病床稼働率は82・5%、40床に対し1日平均33床、昨年度比較4・9床の増となっている。外来患者数は、10、594人、昨年度比較2、664人の減、入院患者数は7、058人、昨年度比較1、034人の増となっている。救急応需は救急要請89件、受入件数63件、応需率70・8%となっており、昨年度比較で要請件数7件の増、受入件数14件の増、応需率11%上昇となっている。

問 今年度の収支見込みは。

答 入院収益は約4,000万円の上方修正となり、その他医業収益では約1,000万円の下方修正となり、医業収益全体では約3,000万円の増となる見込みである。医業費用では職員給与の給与改定等の可

能性を考慮すると約2,000万円の支出増と予想される。令和5年度決算額と比較すると、約1,000万円の収支改善が図られると考える。

問 午後の診療再開に関する検討結果は。

答 令和7年2月より月曜から金曜日の平日において午後の外来診療を再開することを正式に決定した。午後の受付終了時刻を3時に設定し、原則午後3時30分までの診療として整理している。

午後の診療再開については、区長会文書、広報誌、ホームページ、院内掲示板等でお知らせする予定である。

問 次年度に向けた更なる対策は。

答 『救急受入体制の充実』と『午後外来診療の再開』により、入院病床の平均稼働36床、外来患者の平均来院数70名を目標とし、医業収益の底上げを図り、計画的に企業債を活用した機器の更新を行うことで、収益的収支の改善を図りつつ、全体的な経営改善につなげ、持続可能な医療機関としての体力をつけていきたいと考えている。

防疫体制について



いわもと れいこ 議員
岩元 礼子



(一般質問の様子)

●家畜伝染病フレンチブリード病についての対応

問 伝染病の侵入経路、症状は。

答 福岡県で発生が確認された。症状は皮膚の結節、水腫、発熱、鼻汁、泌乳量の低下等がみられる。

問 発生予防の水際対策、蔓延防止は。

答 飼養している牛の観察、蚊、サシバエ、又力力など吸血昆虫の防除を行う、飼養器具等の使用を1頭ごとに洗浄、消毒を行う。

問 消毒剤の配布支援は。

答 町及びJAから消毒剤の配布を行う。

問 伝染病発生時の対応は。

答 国の基本的な考えに基づき各農家が対応する内容を記載したチラシの配布を行った。

問 発生前と比べて子牛の価格、牛乳消費の変化は。

答 変化など情報は来ていない。

問 畜産農家だけではなく広く周知が必要では。

答 国内初めて確認された伝染病であるため、わからないことが多く動

向に注視し、国や家畜衛生保健所の指示により柔軟に対応していく。

●フードロスについて

問 気候変動による規格外農産物が大量に発生しており、廃棄問題に農家が頭を悩ませている状況。このような農産物を給食に使えないか。また、使用した場合の給食費の削減費用はどのくらいになるか。

答 フードロスを少なくする観点においては非常に有用な提案である。また、活用した場合の経費削減となることも考えられる。一方、様々な課題や調整が必要である。

●居住外国人の行政サービスについて

問 多言語での行政案内、各施設での案内、防災などの優しい対応をされているか。

答 ホームページは、多言語対応とされているが、多言語表示などの対応は不十分であり、言語が異なる人とのコミュニケーションの支援が必要。支援が他自治体と比較して遅れていることは認識している。

問 本町在住の外国人の人数、国籍、職業は。

答 65人、8か国、永住、技能実習生など。

●SNSでの行政情報発信について

問 SNSを利用したの宣伝効果、経済効果は。

答 宣伝効果、経済効果はあるものと見込んでいる。

町おこしのためにアニメイベントの開催を！



まえはら じゅんいち 議員
前原 淳一



(一般質問の様子)

●地方創生

問 日本アニメを活用した町おこしについて、進捗状況は。

答 現在、編集者や、映像事業者との接触、意見交換等をはじめ、専門的な助言を頂いたり、関連の実践事業を検討している。今後インバウンド対策として効果的な情報収集や協議を行っていく。

問 地方創生交付金活用の考えは。

答 アニメのみならず高原をPRする事業に活用していくことが必要。活用にあたっては、コンテンツづくり、イベント開催、地元事業者と連携のための仕掛け、持続可能な取り組み、デジタル技術などを視野に財源の活用や事業内容を照らし合わせながら模索していく。

問 制作費を安価に抑えるために自らストーリーを考え提案を。

答 ストーリー性は編集者等の意見も重要だ。広く高原をPRしていくため、専門的知見を取り入れた費用対効果も視野に事業展開していく。

●「山の目」記念全国大会の誘致

問 進捗状況は。

答 県の担当課との協議や情報収集をしている。県も国スポ・障スポの開催を控えており、国、県、関係団体との協議をしながら可能性を探っていく。

●がん対策（HPVワクチン接種）

問 本町のがん対策の実態と対策は。

答 定期検診受診率向上のため、無料検診対象者への再勧奨などに取り組んでいる。

問 子宮頸がんの予防には男性の（HPV）予防接種が有効とされているが、国の補助がない、有効性の周知とともに町独自の補助が必要と考える。

答 中学校で子宮頸がんワクチンの講演会を実施して、有効性を含め、啓発できたと考える。男性への補助については予定はない。

●軽自動車税（種別割）

問 農家支援のため農機具等の軽自動車税免除の考えは。

答 高原町税条例に規定がない、また税込確保の観点から出来ない。



▲子宮がん検診車

町民に直結する身近な政策も望む！



やました かおり
山下 香織議員



(一般質問の様子)

●町内の猫問題について

問 町内に生息する不妊手術されない猫に対する町独自の助成はできないか。

答 県の地域猫事業を推進している。不妊手術の助成事業は財源や事業の平等性・公平性・整合性を考慮する必要がある。



▲飼い主の分からない、増えていく猫達

●町立病院の外来診療について

問 婦人科診療を週一で実施できないか。

答 新規事業に投じる投資額が医業収支に影響を与える可能性がある為、今のところ考えていない。

●今後のコロナワクチン接種について

問 有効性や安全性を自ら調べ判断するのは非常に難しいと思うが。

答 担当課で必要な情報はお伝えできる。

●バス停について

問 バス停に屋根付き待合所を設置出来ないか。

答 スペースの確保や費用・利用者数等を考慮して今は設置は難しい。

●関係人口について

問 効果と次年度への対策や改良点は。

答 にしもろマルシェでは過去最高売り上げがあり継続開催の要望を頂いている。企業版ふるさと納税も増えた。その都度、改善点等を検証し、今後もSNSを含めたPR等の活動を継続し関係人口の獲得を進める。



▲にしもろマルシェの様子
(東京都三軒茶屋)

町長の政治姿勢について



すえなが みつる
末永 充議員



(一般質問の様子)

●観光客を呼び込むための施策も

問 必要であり、地域住民の健康や幸福度を高める施策を展開するのが有効と考えるが。

答 指摘のとおり認識しており、任期中に取り組む。

●農林水産業

問 畑地かんがい事業による農畜産物や加工品等の高収益商品をJAと連携して推進すると公約を掲げているが、見えていない。

答 高収益な農産物の選定にはまだいたっていない。担い手が作業し易い、ほ場整備や計画的に作付けができる畑かんの推進を行う。

●健康づくりと地域医療

問 多額の公費投入は、財政の逼迫につながる。今後、どうするのか。

答 地域医療にまい進する。

●公共施設整備

問 老朽化の進む公共施設の整備計画をどう進めていくのか。

答 今年度中に基本方針の見直しについて、方針決定する。

●災害に強いまちづくり

問 令和6年6月に水源周辺周辺の工事は完了したが、水源建屋の整備は。

答 地形・地質及び水脈等について調査を行い、第1水源施設等の保全対策について検討する。

●財政基盤の脆弱な自治体にとって

問 高額な委託料が財政に与える影響は大きい。国に要望するべきでは。

答 引き続き要望する。

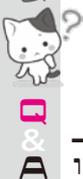


▲常盤台水源地

●町長の任期

問 今後の考えは。

答 3選へ出馬せず、残された課題解決に向けて全身全霊で職責を全うしていく。



学校現場の実態把握を正確に！



けいすけ じん 陣 圭 議員



(一般質問の様子)

●学校教育

問 憲法第23条に関する判例に基づき、学校教育に関する教育長の考えは。

答 授業の内容目的は学習指導要領に示してある。授業の際、内容や学習指導過程には教員に一定の裁量があると認識する。

問 旭川学力テスト事件の見解につき、保護者との連携、意思疎通という部分について考えは。

答 学校の組織運営、特に授業に関しては、学校が夫々生徒の実態を把握しながら、家庭と連携を取り、進めている。

問 判例が示す関係者には町も含まれる。学校と保護者との意思疎通だけか。

答 教育委員会としては、全体を俯瞰し、学校の指導助言、支援をする。
問 教職員に対する教育長の一般的服務監督権限については。

答 教育長としては、学校教育、社会教育を推進する役である。

問 学校統合後のスクールバス運行につき、ラッピングや車体への広告掲載等による財源確保につき可能性は。

答 経費を下げるための対応策として今後調査検討する。

●税制改正

問 税制改正に伴う財源確保につき、対応は。

答 全国の町村会をあげ恒久的財源確保を国に要望すべきであるという方向性が出ている。

●文書・情報管理

問 住民の権利利益保護の観点から、法制の専門部署を設ける必要は。

答 必要な時期かもしれないが、現状を理解いただき職員が適正な事務処理に努めたい。

●まちづくり事業

問 行政の立ち位置につき考えは。

答 基本的なまちづくりの方向性などの旗振り役は、行政がまず担う必要がある。

問 霧島ジオパークなど、代表者だけでなく事業者個々にも連携の機会を創出し、町全体で一体的に地域間連携する仕組み作りが必要では。

答 理想的である。一部の団体では、町が仲介する形で連携の話し合いが開始されている。

今のままで大丈夫!? 統合まであと僅か



たけし ふくざわ 福澤 卓志 議員



(一般質問の様子)



●町政運営全般

問 町制施行90周年を迎えた。1年間の振り返りと今後の考えを伺う。

答 多くのイベントを開催し盛り上げてきた。残された期間、課題解決に向け取り組んでいく。

問 子ども支援係が健康課にあるが、分かりづらいついた声がある。子ども課として単体化出来ないか。

答 考えはない。

●鳥獣害対策

問 各鳥獣の駆除費用は。

答 シカ・イノシシ7千円、タヌキ・アナグマ2千円、サル2万円、カラス類1千円、ドバト4百円、ノウサギ4百円。

問 捕獲頭数・報奨金支給額は。

答 捕獲数(イノシシ116頭、シカ223頭、タヌキ118頭、アナグマ101頭、カラス21羽、ノウサギ7羽)、報奨金支給額2,834,800円(20名に対し支給)。

問 報奨金の増額は出来ないか。

答 近隣市町と協議を行う。

問 「スマート捕獲等普及加速事業(国費)」を活用出来ないか。

答 考えはない。

●学校統廃合

問 高原小学校校舎改築等の状況は。

答 令和7年度に7,400万円前後をかけて改修を行う。

問 令和7年度入学生は。

答 小学生47名、中学生73名。

問 校区外申請はあるか。

答 小学校3件、町外0件、中学校0件。

問 交通指導員の現状と統合後の処遇は。

答 現在5名(並木、高原駅前、町交差点、後川内、広原)、令和3年に年額8万円に増額し、今後の処遇は検討中。

問 廃校後の校舎活用に関するアンケート内容は。

答 学童保育や公立保育所、カフェや日用品、地域コミュニティスペース、合宿所、民間業者への売却など。

●交通安全等

問 宮崎市のようにヘルメット購入費助成が出来るか。

答 公益性が低いため行わない。



高原町公共施設等整備の基本方針について



ぬくみず よしあき
温水 宜昭議員



(一般質問の様子)

問 令和3年11月に示された公共施設等整備方針では小学校建設を先に進め、その後に行舎建設を進める方針が令和5年6月に小学校建設を断念した。計画見直しの検討は（新築・改修等の順番等）。

答 厳しい財政状況の中、施設の老朽化、社会環境や町民要望の変化等への対応を踏まえ、安定した住民サービスが提供できるよう総合的・長期的な視点を持って将来に必要な施設機能の在り方について検討を行い、役場内部の公共施設等検討本部会議で基本方針見直しについて協議を行い、今年度中に方針決定を考えている。

問 公共施設等整備の基本方針で優先的に示された施設の耐震工事状況と建物等の目標耐用年数の考え方は。

答 旧耐震基準で整備された施設のうち役場庁舎・中央公民館・町民体育館・町民体育館分館・旧高原中学校体育館・後川内中学校体育館が耐

震補強工事が実施されていない。又、目標耐用年数の考え方については、日本建築学会の耐久計画の考え方を参考に鉄筋コンクリート造や鉄骨造は60年、木造は50年と設定した。

問 高原小学校改修工事について設計予算が2千万円から6百万円（実施契約額）に減額になった理由と国の補助見込み額は。

答 設計費用の減額は改修項目を最小限にし、改修工事費は7千4百万円程度を予定しており、国・県の補助額はその1割と見込み、年明けには確定する見込みである。

問 現高原小学校へ統合後の使用期間は。

答 何年まで使用するかは今は申し上げられない。

問 役場庁舎新建設への国の補助の有無については。

答 新庁舎建設の国の補助は厳しい。



▲高原小学校

できない理由ではなくできる方法を考える！



ほかむら ひとし
外村 仁議員



(一般質問の様子)

●空き家・空き店舗について

問 実際の空き家数と空き家バンクへの登録数は。

答 空き家数267戸、登録数116戸、掲載数20戸。

問 土地売却を前提とした空き家解体補助はできないか。

答 現在は考えていない。

問 町のホームページに空き店舗バンクを追加できないか。

答 データの収集・整理ができれば可能。

●創業支援について

問 町内で起業する際の支援は。

答 令和3年度より高原町創業起業支援事業を行っており、令和5年度までに8件の支援を行っている。

問 創業に係る知識を学ぶ研修を行えないか。

答 資料等を確認し、高原町としての創業支援・起業支援を検討すべきと考えている。

●外国人居住者について

問 近隣住民とのトラブルはないか。

答 現在のところ無いものと認識している。

問 町内雇用の技能実習生に失踪者はいないか。

答 失踪は無いが、外国人ネットワークでつながっている事例が多いと伺っている。

問 生活保護支給をしていないか。

答 生活保護措置を受けている方の中にはいない。

●ふるさと教育について

問 高原町独自の教育内容は。

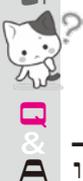
答 高原子ども未来議会や日本発祥地まつりの企画運営補助などがある。

問 天孫降臨や神武天皇ご生誕の地を重点化した教育は。

答 小学校6年の総合的な学習において神話伝統や文化財、歴史について調べる学習をしている。

問 就職・進学等で町外に出た際に高原町のPRができる資料は作れないか。

答 PR素材が点在しているため、データを整理して簡単に見られるように研究をしていきたい。





高千穂峰



写真提供：村上大輔さん
「天孫降臨コースの登山道にある風の鳥居です。残雪と青空のコントラストがキレイで神々しくも感じます。高原町の誇れる場所であり、登ったからこそ出逢える最高の景色の一つだと感じます。」



狭野神楽

狭野神楽を舞った子ども達



●二宮新太さん
「お父さんといっしょにがんばります!」



●久保田成幸さん
「狭野神楽は、約500年続いており、番付は33番まであります。手力雄神は、おとりである33番にあたる舞です。みんなが一晩中つなげてくれた物の、仕上げとなります。私は手力雄神をさせていただいて今年で10年経ちますが、未だにすごい緊張で無事舞い上げた後は、よかったの一言に尽きます。今年も岩戸を押し開き、天照大御神(太陽神)姿を見せ、世の中に光が戻りホッとしました。」



祓川神楽



●左:園田悠真さん、右:園田英輔さん
「親子二代で、舞うことができ、感無量です。」



●西川和応さん
「清々しい気持ちでした。」



祓川神楽では最後に皆さんと鯉(いわし)を食べて供養する習わしがあるそうです。



2月:苗代田祭(ベブガイホ)



5月:狭野棒踊り



5月:狭野奴踊り

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年とは様々だったのでしょうか? それぞれに楽しい事も辛い事もあったのではないかと思います。また日が昇り、新しい年が明け、繰り返されていく毎日が清々しく晴れやかなものであることを祈るばかりです。さて、ここ数年の私の年末と言えば高原町の神楽です。まだ見始めて2年目ですが、新しい発見や意味を知る事で感動したり、それぞれの神楽の特徴や個性もあり本当に魅了されます。昨年は初めての終盤の舞を見させて頂きましたが、朝日が昇り、まわりの空気も変わっていく中での舞はとても厳かで身が引き締まる思いでした。私も議員3年目を迎えます。より良い高原町にするため、一歩一歩着実に努力して参ります。

山下香織

神楽は、毎年12月開催。
●狭野神楽:第1週の土曜日夕方7時くらいから翌朝7時頃まで。●祓川神楽:第2週の土曜日夕方7時くらいから翌朝7時頃まで。

